



11月4日、街道東城路（東城市街地）周辺で、伝統行事「第31回お通り」が開催され、約2万人が沿道に集まりました。

「お通り」は、慶長6年（1601年）に東城五品嶽城主だった長尾隼人正一勝（読み方は諸説あり）が、関ヶ原の戦いの戦勝祝いとして始めたのが起源とされ、大名行列、武者行列、母衣、華童子からなる行列を組みます。平成5年から、お通り保存振興会によるイベントとして開催されるようになり、本年も晴天のもと、華やかな行列を披露しました。

お通り